

謹んで初春のお慶びを申し上げます。



年末年始のお休みが例年よりちょっと少ない中、皆さまにおかれましては、家族サービスに余念のない方、ご実家に帰省された方、ゆっくり寝正月を過ごされた方など、それぞれ充実したお休みを過ごされたのではないかと思います。

昨年は監査業務に多大なるご協力とご理解を賜り誠にありがとうございました。

新年早々、標準会計監査、フォローアップ監査が控えておりますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新しい年も本学にとってよい年でありますように、また、皆さまにとって素晴らしい年でありますように祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

福

監査室長

▼INDEX▼

■【会計監査人監査情報】
・平成 28 年度会計監査人監査 ～部局往査が始まります～
■【監査ニュース】
・監査法人のガバナンス、5 原則と 22 指針で 金融庁が最終案 外 8 件
■【連載企画】
・小〇はつらいよ「科研費の新規の研究課題」編
■【Audit Cafe】
・「常にベストをつくせ。見る人は見ている。」伊坂幸太郎『ジャイロスコープ』より

表題写真：松島湾の日の出

会 計 監 査 人 監 査 情 報

・平成 28 年度会計監査人監査 ～部局往査が始まります～

1 月から 2 月にかけて、会計監査人である**有限責任監査法人トーマツ**による**部局往査**が実施されます。

内容としましては、支払（債務計上）や入金（債権計上）などの各取引における部局内での手続きフロー及び統制手続きに関して、その有効性を確認するために、伝票等の閲覧やヒアリング等を実施するものです。

新年早々大変恐縮ですが、対象部局におかれましては、ご協力方よろしくお願いいたします。

なお、監査当日は監査室のスタッフも必ず立ち会いますので、疑問点等がありましたら遠慮なくお声掛けください。

【会計監査人監査】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

監査ニュース

・監査法人のガバナンス、5 原則と 22 指針で 金融庁が最終案【12/5 日本経済新聞】
・全国立大で記述式問題導入へ 平成 32 年度から【12/8 産経新聞】
・京都工芸繊維大教授が研究費約 108 万円を不正受給、平成 18 年以降の約 10 年間【12/9 産経新聞】
・透明性のある産学連携を…製薬業界が共同研究の相手先・研究費を公開へ 今年度分から【12/19 産経新聞】
・年金機構 情報流出発覚後もルール守られず PC に保存【12/17 毎日新聞】
・東京芸大の准教授、アカハラで停職 1 カ月に【12/22 朝日新聞】
・法科大学院 4 校が補助金 0 合格率低迷、明大など【12/27 毎日新聞】
・鳥取大医学部、補助金 7600 万円の使途不適切 文科省に報告、返還へ【12/27 産経新聞】
・大分大の学生自殺「アカハラが原因」 検討委が報告書【12/27 朝日新聞】

連載企画



生まれも育ちも栗原築館、姓は小○ 名は卓也、人呼んで フーテンの卓 が引き起こす様々な出来事を、なぜか国立大学法人業務に長けた 妹 が見事に解決していくコーナー！
フーテンの卓って一体何者？ 大学の研究者？ 役員？…どちらにせよ、フーテンじゃないじゃん！
キャラクターの設定はひどく迷走しておりますが、第４回目となる今回は、「科研費の新規の研究課題」というお題についてご説明します。

平成 28 年度も残すところあと 3 ヶ月、科研費での研究も大詰めを迎えていることと思われます。

今後、実績報告書（実施状況報告書）を提出することとなりますが、提出前に今一度、執行内容や証憑書類を見直してみてはいかがでしょうか？

見直すにあたっては、内部監査でも特に検出事項の多い『科研費の新規の研究課題』について、重点的にご確認いただければと思います。

・……・……・……・……・……・……・……・……・

妹「今年の初詣も、帝釈天はもの凄い数の参拝客だったわね。お兄ちゃんも、さっそくお参りして来たんでしょ。」
卓「行ってきたよ。『新規で応募した科研費が採択されますように』って拝んできた。」
妹「どうしたのお兄ちゃん！オリジナルの寅さんには、そんな設定無いわよ！びっくりしちゃったじゃないの。 …あ、でも、もし採択された時は、注意して欲しい事があるから、今のうちに覚えておいてね。」

・……・……・……・……・……・……・……・……・

以下２点が、科研費の新規の研究課題において、特に注意すべき事例となります。

（１）内定前の発注はないか

科研費ハンドブック(研究機関用_平成 28 年 9 月版)の 94 頁に以下の通り記載があります。

> １　「新規の研究課題」については、科研費（補助金分）、科研費（基金分）ともに交付申請・交付決定・送金が行われる前の内定通知日以降に研究を開始し、必要な契約等を行うことができます。ただし、「国際共同研究加速基金（帰国発展研究）」においては、研究代表者が所属する研究機関による交付申請書の提出日以降補助事業を開始し、必要な契約等を行うことができます。必要な経費は、直接経費受領後に支出し、又は研究機関等が立て替えて直接経費受領後に精算してください。

上記の通り、新規の研究課題においては、内定通知日（一部の種目を除き４月１日）より前の発注は認められないため、十分に注意する必要があります。

内定通知日直後に納品した物品や、発注から納品までに相当の期間を要するにもかかわらず比較的早い時期に納品されている物品について、内定通知日より前の発注が行われていないか、購入済報告書等の証憑書類から確認してみてください。

また、立替払においても同様となります。立替払請求書の提出が内定通知日より後であっても、支払日（事実発生日）が内定通知日より前であれば、前述の「契約等」にあたるため、当該新規課題での精算は不可能となります。

なお、見積書の徴収は発注行為ではないため、差し支えありません。



（２）新規課題として採択されてすぐ「成果発表」の用務で出張がある場合、妥当性について整理がされているか

内定通知日以降は出張が可能となりますが、研究開始から間もない期間に、学会等での「成果発表」という用務で出張している場合、「本当に当該科研費の研究課題の成果が現れたのか」という一抹の疑念が生じかねません。

ただし、支出そのものを禁じているわけではなく、交付申請書に基づいて実施した当該課題の研究の成果であることが明確に説明できる場合、支出は可能です。

また、研究開始直後の論文投稿等も同様の整理となります。

なお、「研究は継続するものだから」との理由だけでは、支出は認められません。あくまで当該課題の研究の成果である必要があります。



科研費の新規の研究課題において、特に注意すべき点は以上となります。

なお、新規課題の課題番号及び財務会計システム上のプロジェクトコードの見分け方については以下の通りです。

〇課題番号

平成 27 年度より課題番号の付番方法が「西暦＋種別＋通し番号」に変わりました。

図示したものは以下の通りとなります。

〇 課題番号【平成28年度新規・基金】

１　６　Ｋ　１　２　３　４　５

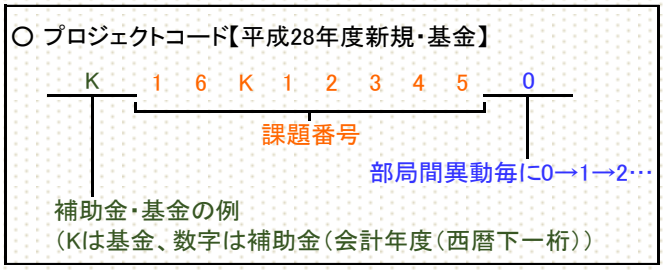
西暦　　通し番号

補助金・基金の例
（Kは基金、Hは補助金を表す。）

例）
16H12345 →平成28年度新規〔補助金〕

○財務会計システム上のプロジェクトコード

こちらも平成 27 年度より付番方法が変わりました。
図示したものは以下の通りとなります。



例）
616H123450 →平成28年度新規〔補助金〕

平成 28 年度の新規課題は、プロジェクトコードが「K16」や「616」から始まるものとなりますので、特にご注意いただければと思います。

・……・……・……・……・……・……・……・……・

卓「なるほどねぇ、内定通知日より前に、物を買っちゃ駄目っていうのは分かっていたけど、年度の早い時期に開催される学会だと、参加費も２月とか３月に立替払することもある。立替払した時期が内定通知日以前だと、新規の科研費で精算する事は出来ないんだね。」
妹「そうよ、お兄ちゃん。内定通知日より前に立替えた分は、少なくとも新規の科研費では精算出来ないから注意してね。」
卓「そうかい、わかった。でも、もし本当に年度の早い時期に開催される学会で新規課題の研究成果を発表する事になったら、旅費はどうなるんだい。」
妹「もちろん旅費を支出することは可能だから、交付申請書に基づいて実施した当該課題の研究の成果であることを明確に説明できるように、書類等を残しておいてね。いつものような自由気ままな旅は駄目よ。」
卓「それを言っちゃあ、おしまいよ。」



・……・……・……・……・……・……・……・……・

以上、『科研費の新規の研究課題』でした。
日本学術振興会のＨＰには、科学研究費助成事業に関する様々な情報が掲載されており、特に、科研費の使用等に関するルールを分かりやすく解説した「科研費ハンドブック」は、毎年度更新されております。
以下より、ダウンロード可能となっていますので、科研費をより良く使うために是非ご活用ください。

○科研費ハンドブック
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/15_hand/index.html



このコーナーでは、皆様からの疑問・質問をお待ちしています。
日頃の業務の中でのちょっとした疑問（なんでこんな作業が必要なのだろう）や、
いまさら上司や先輩に聞けないけれど、実はよく理解できていないことなど、
いただいたご質問には出来る限り誠意をもってお答えします！
ご質問は、メール、ファックス、お手紙で！（匿名でも大丈夫です）

Audit Cafe

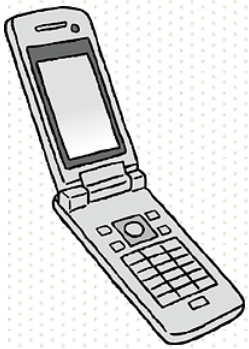
毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、
「常にベストをつくせ。見る人は見ている。」　伊坂幸太郎『ジャイロスコープ』より
と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

早いもので3回目の投稿となります。



日々、平々凡々と暮らしている中でネタになるエピソードを模索しておりましたところ、昨年大きく変わったことといえば、**スマホ**を持つようになりましたので、事の顛末を記したいと思います。

購入時は最新型だった私の携帯電話（ガラケー）も**10年間使用**の末とうとう修理不可能となり、機種替えすることになった。



そもそも、私の携帯電話は、使用頻度が少なく、無用の長物と思っていたが、仕事での責任の重さに比例して**「緊急連絡網」の呪縛**から必需品へと変貌を遂げた経緯がある。

中でも、**『〇ホール』**担当の際は、震度3クラスの地震で施設の貯水タンクが異常を感知・発報し、警備会社から担当の私に連絡が入る流れになっており、何度、深夜、明け方に対応したか数え切れない。

その苦をともにした携帯電話が一通話でバッテリーが無くなるようになり、ショップに修理の相談に行くと、**年数的にもう修理できない**という。なおかつ、メーカー自体、ガラケーから撤退する傾向にあり、これを機会にスマートフォンに更新されてはどうかとの誘いである。

思い起こせば、家族で最初にスマホを手にしたのは**娘1号**だった。
遡ること数年前、大学進学を機に購入し、購入した翌日に娘1号がスマホ片手に**「お父さん、世界が変わったよ！」**と話していたのを昨日のことのように思い出す。
続いて、**娘2号**だが、高校進学時、入学式当日にクラス内でメールアドレスを交換する際、驚くことに女子で**娘2号だけがガラケー**であり、なおかつ、担任から授業でスマホを活用する旨言い渡されたという。
娘2号がガラケーなのを知っているクラスメートから、心配からか一斉に注目された話を聞き、スマホに買い替えた。
購入した際、**「お父さん、（ひとり）ボッチにならずにすんだよ！」**と言った娘2号の笑みを昨日のことのように思い出す。

娘二人がスマホに変わってから、電話連絡が少なくなったような気がする。
ガラケーとスマホの相性もあり、**繋がらない「とき」もある、と職場の同僚に慰められた**こともある。
娘と連絡を取りたくて、「メールしてくれ」と頼むと、「メールは面倒だ」と言う。
『そういう年頃』なのだと寂しさと諦めにも似た境地だった。

回想が長くなったが、妻のガラケーも私と同時期に購入しており10年選手で、外装のダメージが著しく、カメラも機能していなかった。
「一緒に購入するスカ？」と一緒に来ていた妻に確認しようとしたところ、**「私はコレで」**と妻が満面の笑みでカタログ内の**ピンク色**のスマホを店員に指さしている。



「え？」と私が声にしたかしないうちに、ショップの店員が動き出す。
「お二人とも始めてスマホを持たれるんであれば、同一機種のほうがよろしいですよね。」
「娘さんと同じＯＳなら、後々操作方法とか聞けますよ。」
「色は何色になさいますか？」と店員が話しながら、目の前にスマホの箱が並べられ、
「クロでお願いします。」という自分がいた。
そして手元には、新型のスマホと、修理不能の哀愁漂うガラケーが並べられた。

購入後、娘の指導の元、使い方を教わり、家族間でＬ●ＮＥが始まった。
使って分かったが、なるほど、以前娘たちが言っていた「メールは面倒だ」というのが分かる気がした。

娘たちが「面倒だ」と言い放ったのは、決して、**『そういう年頃』のせいではなかったと分かって一安心**、だ。



また、**「お父さん、世界が変わったよ！」**と言った娘１号の一言、なるほど、ビックリするくらい携帯の維持費が上がり、**世界が変わる前に、我が家の生活が一変するのではないか**とビクビクしている今日この頃である。

余談ではあるが、娘から車で迎えを頼まれることがある。
指定場所に到着した際、「着きました」と、連絡するのも面白味にかけるので、*都市伝説のリカちゃん電話*をリスペクトし、**『モシモシ‥私、リカちゃん、イマ‥駐車場にイルノ‥』**とメッセージを入力し、娘からのツッコミを待つのだが、**返信は‥‥ない。**
その他、なるべく「クスッ」としそうな「つぶやき」を、私の少ないボギャブラリーを駆使し入力するが、**一向に響か‥‥ない。**

まぁ仕方ない、**『そういう年頃』なのだろう。**
親は不安と安心の繰り返しなのである。

親心

そんな折、娘２号とその友達を車に乗せる機会があり、**その友達から、「娘２号ちゃんのお父さんって面白いですよね。やり取り、いつも見せてもらってます。」と話があった。**
娘２号よ、友達との会話で父親が話題にされることはうれしいことだが、この親子のやり取りは、家族間だから、安心しておやじギャグ等々入力しているのに**‥‥こんな形で拡散していたなんて‥‥。**
車内で「ハ、ハ、ハ‥‥」と乾いた笑いを発するのが精いっぱいだった。

最後になるが、昨年読んだ本の中にこんな一文があったことを思い出す。

「常にベストをつくせ。見る人は見ている。」

新年早々たわいのない私の日常を最後まで読んでいただいてありがとうございます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（監査室Ｓ）



最後までお読みいただきまして、誠にありがとうございました。

監査室では、本年も「おうでぃっとめーる」や、その他様々な形で情報を発信し、皆様の業務改善や業務の効率化に少しでもお役に立てるよう精進して参りますので、引き続き、ご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは...

【電話でのお問い合わせ】

東北大学監査室

０２２－２１７－４８７４（監査室長：佐藤）

０２２－２１７－５６８０，４８８０（平野、小原、綱川、杉山）

【メールでのお問い合わせ】

東北大学監査室

kansa@grp.tohoku.ac.jp

Copyright(C) Audit Office,Tohoku University . All rights reserved.
本メールの無断転載を禁止します